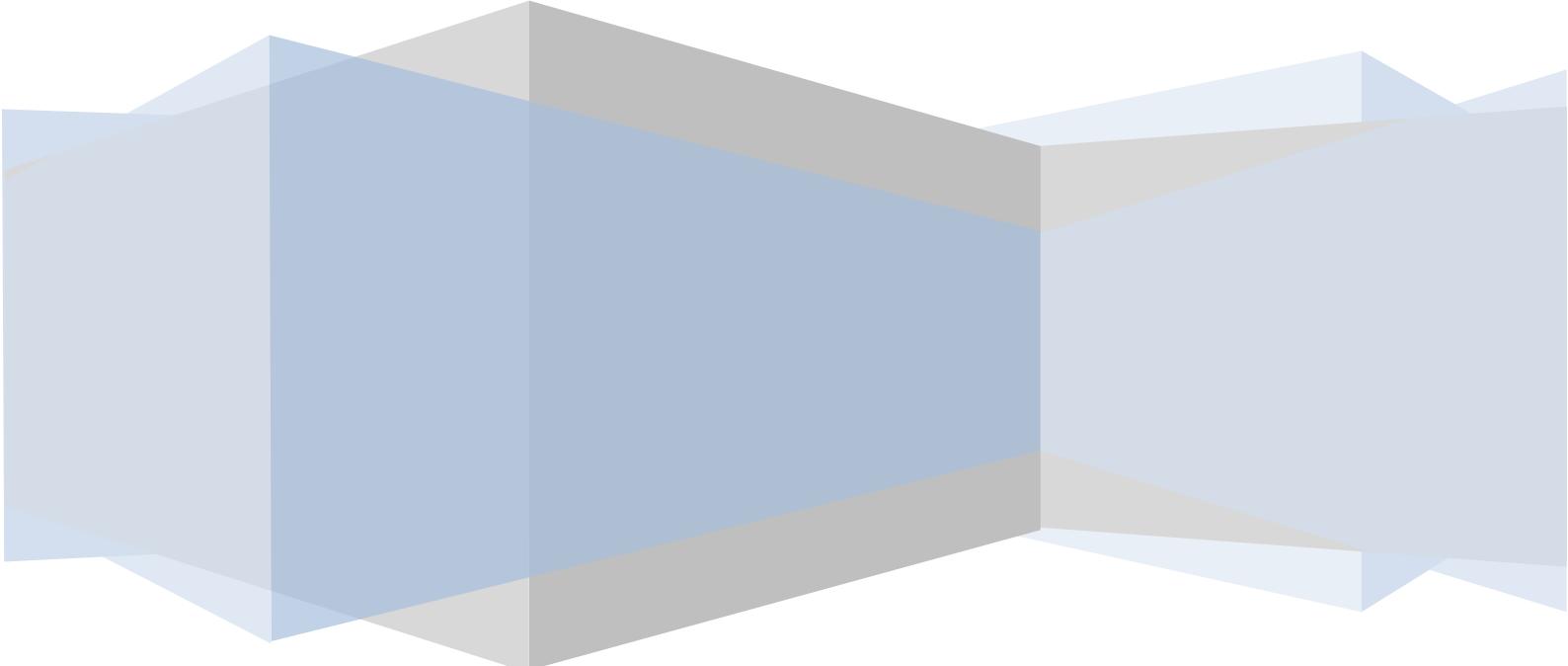


事業計画書

(令和7年度)

千葉市若葉区千城台コミュニティセンター

指定管理者 ちばアートウインド運営企業体



目 次

1	基本事項	
(1)	人員の配置及び緊急連絡体制-----	P 2
(2)	使用時間、休館日、利用料金等-----	P 3
2	施設貸出業務に関する実施計画	
(1)	使用許可受付関係-----	P 5
(2)	利用者サービスの向上、稼働率向上の工夫-----	P 6
3	受託事業及び自主事業に関する実施計画	
(1)	市からの事業実施受託業務-----	P 10
(2)	自主事業-----	P 13
4	施設維持管理業務に関する実施計画	
(1)	建築物、建築設備機器保守管理業務-----	P 43
(2)	備品管理業務-----	P 45
(3)	植栽、外構施設維持管理業務-----	P 46
(4)	環境衛生管理業務-----	P 47
(5)	駐車（駐輪）場管理業務-----	P 48
(6)	保安警備業務-----	P 49
(7)	修繕業務-----	P 50
(8)	その他-----	P 51
5	経営管理業務に関する実施計画	
(1)	再委託業務-----	P 52
(2)	管理業務の実施状況に関する自己評価-----	P 53
(3)	利用者意見等の把握と対応-----	P 54
6	その他	
(1)	その他-----	P 56

1 基本事項

(1) 人員の配置及び緊急連絡体制

【人員配置表及び緊急連絡体制図を記載すること。また、その説明文を記載すること。】

【人員配置表】

本施設は若葉文化ホールとの複合施設のため、通常業務では施設責任者として統括館長及び所長・副所長を配置し、各部門責任者として総務・受付責任者、施設管理責任者、受付担当者、設備担当者、清掃担当者を配置します。

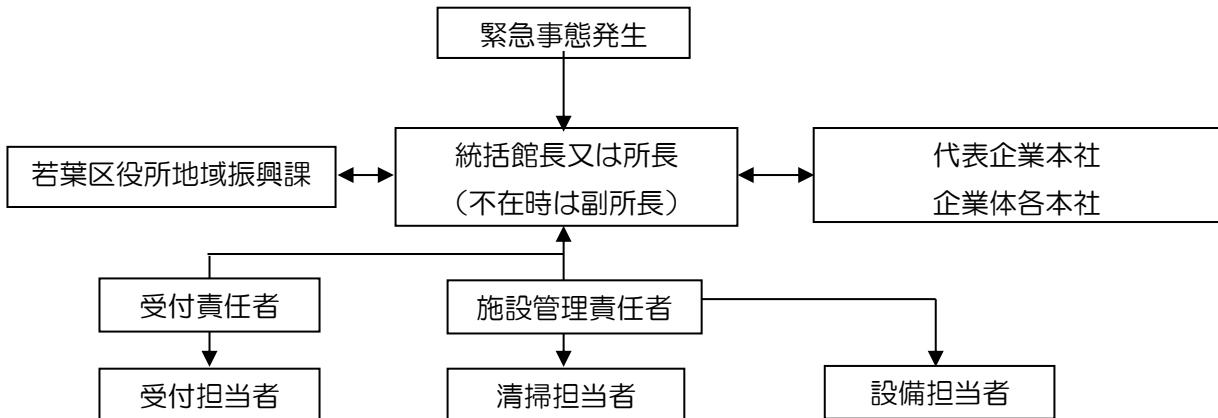
本施設の運営責任者は所長（施設責任者）とし、副所長、部門責任者を配置することで、常に責任者が在館できる体制で運営します。

職名	人數	備考
（統括館長）	（1名）	美浜・若葉文化ホール等 3館統括責任者
所長	1名	若葉文化ホール館長兼務
副所長	1名	
総務・受付責任者	1名	
施設管理責任者	1名	
受付担当者	4名	
設備担当者	3名	
清掃担当者	8名	

【緊急連絡体制図】

開館時は職員の巡回による警備を基本とするとともに、緊急事態発生時にはスムーズな対応ができるよう日頃より訓練を実施し、有事に備えます。

また、緊急時の連絡体制（連絡網）を施設内事務所の見やすい場所に掲示するとともに、年に2回シミュレーションを行い連絡網がスムーズに機能できることを確認します。



(2) 使用時間、休館日、利用料金等

【使用時間、休館日、利用料金等を記載すること。】

【使用時間と利用料金】

千葉市コミュニティセンター設置管理条例に定める範囲内で利用料金を設定し、利用料金区分は2時間を1コマとし、貸出します。

諸室の利用料金			
区分	基本料金	延長料金 (1時間)	備考
創作室1	240円	120円	
創作室2	250円	120円	
講習室	270円	130円	
集会室	200円	100円	
和室	380円	190円	
音楽室	470円	230円	
料理実習室	390円	190円	
サークル室1	330円	160円	
サークル室2	280円	140円	
大広間	630円	310円	
多目的室	1,350円	670円	
会議室	280円	140円	
研修室	170円	80円	
ヘルシーホール	510円	250円	

トレーニング室利用料金				
個 人 使 用	料金	一般	満65歳以上の高齢者	中高生
	通常料金(2時間まで)	220円	180円	100円
	延長料金(1時間当たり)	110円	110円	50円
	回数券(2時間まで、11回分)	2,200円	1,980円	1,000円
	パスポート券(1ヶ月)	4,300円	4,300円	1,900円
	パスポート券(3ヶ月)	11,000円	11,000円	5,000円
	パスポート券(6ヶ月)	18,400円	18,400円	8,400円
	パスポート券(1年)	29,500円	29,500円	13,400円

* 子どもの日・スポーツの日の各1日と、市民の日及びその直近の土曜日・日曜日は、トレーニング室を無料開放します。ただし、市民の日が土曜日又は日曜日である場合は、市民の日を含む連続した土曜日及び日曜日とします。

【利用料金の減免】

利用料金の減免については、千葉市コミュニティセンター設置条例第13条、同規則第8条に基づき減免します。また、減免に係る事務実施要領に基づき適切に対応します。

【開館時間】

◇開館時間は、現行通り条例に定められた下記に記した開館時間を原則とします。

開館時間の延長が利用率の向上及び市民の文化活動・コミュニティ活動の増進に寄与すると認められるときには、市と協議のうえ、柔軟に対応します。

また、指定管理期間中に実施するアンケートや利用者からの聞き取り調査等で開館時間の変更が客観的に有効であると判断された場合は、市と協議のうえで柔軟に対応します。

施設名	開館時間
千城台コミュニティセンター	午前9:00～午後9:00

【休館日】

◇休館日は施設管理に必要な最低限の設定とします。

休館日はあらかじめ設定し、あわせて利用者が混乱しないよう、休館日カレンダーを作成の上、館内に掲示するほか、希望者に配布することで周知を徹底します。

休館日における臨時開館あるいは休館日の変更が、利用率の向上及び市民の文化活動・コミュニティ活動の促進に寄与すると認められる場合や、指定管理期間中に実施するアンケートや利用者からの聞き取り調査等で客観的に有効であると判断された場合は、市と協議の上、柔軟に対応します。

その他、大規模な点検・整備等で臨時休館を行う必要があるときは、事前に市と協議して許可を得た上で、できるだけ早くから周知徹底し、利用者に迷惑がかからないようにします。

施設名	休館日
千城台コミュニティセンター	年末年始（12月29日から1月3日まで）

※安全かつ快適に施設を利用するには、1ヶ月に一日程度は休館日を設け、施設及び設備の基礎的な点検や整備、清掃等を行うことが望ましいです。そのため、利用状況等を考慮し、休館日の設定が可能かどうかも含め、市と協議のうえで柔軟に対応していきます。

2 施設貸出業務に関する実施計画

(1) 使用許可受付関係

【諸室の稼働率、利用人数及び利用料金収入、スポーツ施設の利用人数及び利用料金収入の月ごとの計画（目標）を記載すること。下記シートをエクセルにて作成しても可。】

諸室稼働率・利用人数及び利用料金収入／トレーニング室利用人数及び利用料金収入 計画目標値

(単位：人・千円)

月	諸 室			トレーニング室		合 計	
	稼働率	利用人数	利用料金 収入	利用人数	利用料金 収入	利用人数	利用料金 収入
4月	40.0%	7,243	465	1,051	192	8,294	657
5月	37.6%	7,061	449	1,073	198	8,134	647
6月	44.2%	9,052	519	1,427	263	10,479	782
7月	46.2%	9,666	576	1,256	232	10,922	808
8月	37.9%	7,445	483	1,194	220	8,639	703
9月	46.4%	8,814	555	1,329	245	10,143	800
10月	60.0%	11,495	477	820	151	12,314	628
11月	45.3%	8,810	538	1,126	207	9,936	745
12月	42.7%	7,948	472	870	160	8,818	632
1月	43.5%	8,312	484	1,035	190	9,347	674
2月	47.5%	8,857	528	1,086	200	9,943	728
3月	45.3%	7,078	561	1,433	263	8,511	824
合 計	44.6%	101,781	6,107	13,700	2,521	115,480	8,628

(2) 利用者サービスの向上、稼働率向上の工夫

【利用者への支援計画及び施設の利用促進の方策にかかる年間計画を記載すること。】

【サービス向上の考え方】

私たちは常に下記の4つの視点に基づいた、より具体的な事業や施策の実施を通じて、サービス水準の向上と施設利用の促進を積極的に図ることで、期待している水準を超え「利用者に感動していただく」ことを目指して、日々の運営に取り組みます。

1. 安全・安心の提供：誰もが気持ちよく安心して利用できる運営
2. 利用者の視点：利用者ニーズへの迅速・柔軟な対応
3. 創意工夫の魅力：独自性を活かした特色あふれる取組み
4. 施設効用の拡充：施設機能の最大化により価値を向上

【サービス向上の取組】

誰もが気持ちよく利用するために、以下に示す5つの項目に取り組んで行きます。

項目	内容
① 5Sを基本とした取組み	利用環境の安全性と快適性維持のため、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を基本とした日常的な衛生管理を実施します。 利用者から見える事務所内も5Sを徹底します。
② 障がい者・社会的弱者対応	筆談器の用意、点字シールの貼付、補助犬の受入、車椅子の貸し出し、移動の補助など、障がい者・社会的弱者の方にも少しでも快適にご利用いただけよう、最善を尽くします。
③ 草花のお出迎え	季節の草花でおもてなしの心を表現します。美しい草花が、訪れる方々に季節感と潤いを与えます。
④ 季節の飾りつけ	こいのぼり、七夕飾りなど、季節や文化を自然と意識するような飾り付けを行います。 受付回りに季節や花のイラストを常時飾り、季節感を演出します。
⑤ 地域クリーンアップ	月1回本施設のみでなく本施設周辺も清掃活動を実施し、地域の環境保全や地域交流を図ります。

【利用者への支援】

若葉区はコミュニティ活動や社会福祉協議会など自主的な活動が盛んな地域のため、地域を代表する運営委員やサークル・団体との協議会などを定期的に実施し、意見・要望を取り入れ、利用しやすい施設を目指します。

① 気軽に立ち寄れる場「コミュニティカフェ」

◇誰もが気軽にお茶などを楽しみながら人と人が交流できる場として「コミュニティカフェ」を開設し、様々なテーマについて気軽に集い話せる居場所を提供します。
定期的に様々な団体とテーマのある交流の場を提供し、来館のきっかけづくりや様々な悩みを持った方への支援の場にします。

② 市民がつくる新しいコミュニティ「ちばFUNくらぶ」

◇市内5施設共通のボランティア組織「ちばFUNくらぶ」を拡大、発展させます。メンバーの方々には、自分の趣味や特技、ボランティア活動をしていただき、参加していただいている方の生きがいづくりや交流に貢献します。

③ サークル活動相談の場

◇問題・課題を抱えるサークルが多いことから、相談員を配置して、些細なことでも気軽に相談できるような関係を構築し、サークル活動の継続化及び活性化を目指します。

④ サークル立ち上げ支援

◇様々なサークル体験の機会を設け、活動開始の支援を行います。実際に自主事業の参加者がサークルを立ち上げる際に支援した経験などを活かし、立ち上げから軌道に乗るまで支援を行います。

⑤ サークル代表者の支援

◇サークル代表者の高齢化が進んでおり、代表者がすべての事務をやることが困難になってきています。そのため利用者の要望を聞き、一部事務手続きの代行をするなどで、サークルの代表者の負担を軽減し、サークルの活動継続のお手伝いをしていくことを検討しています。

⑥ サークル紹介等の支援

◇サークル紹介を定期的にサークル情報冊子、千城台コミュニティチャンネル（YouTube）、館内掲示物などで積極的に公開し、サークルの「今」を施設利用者や地域住民へ届けます。

⑦ 交流機会創出の支援

◇サークル活動のマンネリ化や会員の固定化を軽減するために、サークル間の交流・連携ができるような、祭りやイベント、他サークル紹介等の交流機会の場を創出します。

⑧ 職場体験

◇地域の幼稚園、小中学校など教育機関からの、「職場見学会」や「職場体験学習」を提案し、積極的に受け入れ実施をします。

⑨ チラシ配布

◇イベント・催しの際は、事前にチラシを作成し館内に掲示・配布し、近隣の小中学校や市内公共施設での配布をお願い、地域へのポスティングや折り込みを実施します。

【稼働率向上の工夫】

① ホームページの活用

◇“情報量・活用性・利便性の高い本施設ホームページ”を作成し「見やすい」「判りやすい」「便利な」WE B媒体として有効的に活用します。

◇本施設の施設紹介やイベント情報、アクセス情報、自主事業チラシ等を掲載します。

◇S N Sを活用し、本施設で活躍されるサークルの方々の紹介など多様な情報をタイムリーにお届けします。また、S E O対策によるアクセスアップ、スマートフォン対応のページ作成、「Instagram」の活用によりI Tツールを最大限に活用します。

② 地域情報ポータルサイト「まいぶれ」

◇千葉市・若葉区・美浜区をはじめとした地域情報ポータルサイト「まいぶれ」等にも積極的に情報掲載していただけるよう依頼していきます。

③ ポータルサイトを使った利用促進

◇千城台コミュニティセンターは、市外の方や企業（営利目的を除く）が利用できるようになっています。市外や企業の方には、積極的にホームページや会議室の情報が集ったポータルサイトに記載するなどインターネットでの情報発信を強化し、利用の促進を図ります。

④ リーフレットの作成

◇すべての人にわかりやすい施設リーフレットを作成します。

⑤ 千城台コミュニティセンターだより

◇千城台コミュニティセンターだよりを継続して発行し、自治会などに配布するなど、地域と連携して、市民に施設利用状況や自主事業の情報を積極的に発信します。また、近隣の商業施設や団体などとの相互チラシの配架も継続して行い、情報発信の場を多様化し、利用促進を図ります。

⑥ ポケットWi-Fiの貸出

◇諸室利用者へポケットWi-Fiを貸出し、諸室のインターネット環境を整え、利便性を向上させます。

⑦ 新規利用者の獲得

- ◇利用者のニーズの高い備品を導入し、利用促進を図ります。
- ◇施設をアピールするのぼりを設置し、利用促進を図ります。
- ◇自主事業をきっかけにした継続利用を支援し、利用促進を図ります。

【トレーニング室】

項目	内容
① トレーナーの配置	定期的にトレーナーを配置して、初心者向けにマシンの利用方法や利用目的別のトレーニング方法などについての講習会を随時実施します。 初心者講習会の開催、トレーナーによる健康体操など実施します。
② トレーニング機器の入れ替え	利用者ニーズを把握し、より充実したトレーニングを行えるように、必要な機器の入れ替えを検討します。
③ トレーニングカルテの提供	利用者に効果的なトレーニングをおこなっていただくため、日々のトレーニングをご自身で記録するためのカルテを提供します。
④ トレーニングマニュアルの設置	各トレーニング機器には、使用方法や注意点などを掲示し、安全に効果的なトレーニングを実施していただけるようにしていきます。
⑤ 健康チェック機器の設置	血圧計、体脂肪計などで、健康状態のセルフチェックをおこない、日々のトレーニングを安全におこなっていただける環境を整えます。
⑥ 栄養学講座	定期的に栄養士による栄養学、トレーナーによるトレーニング理論講座を実施します。

3 受託事業及び自主事業に関する実施計画

(1) 市からの事業実施受託業務（事業ごとに1枚）

事業名：コミュニティまつり
内 容
<p>[実施目的]</p> <p>近年、少子高齢化問題や都市一極集中問題などによって地方の衰退が進む中、個人主義の拡大や近所付き合いの減少といった地域の繋がりの希薄化についても大きく問題視されるようになってきました。地域の繋がりの希薄化による地域コミュニティの弱体化は、自治機能の低下、安心・安全な生活環境の崩壊、地域防災力の低下などの問題を引き起します。このような背景から、地域におけるネットワークを豊かにしつつ、地域のアイデンティティを継承していけるような、地域コミュニティの再生・強化が求められるようになってきています。地域コミュニティの強化やアイデンティティの継承という点において、古来より日本では「祭り」が盛んに行われ、地域の伝統文化として根付いてきました。</p> <p>今回、この祭礼活動の一つとして、それぞれの地域で広く親しまれ、何年も継承されてきた「コミュニティまつり」を実施します。</p> <p>コミュニティまつりは、日頃のサークル活動・研究成果等を発表することにより、コミュニティの輪を広げると共に、市民の自主的な活動を推進し、地域の自主的な発想の中で各種展示、発表などを行い、利用団体が情報交換や交流のできる場として開催します。</p>
<p>[開催時期] 令和7年10月18日（土）、19日（日）※予定</p> <p>[対象者] 全世代</p> <p>[開催場所] 千城台コミュニティセンター全館</p> <p>[運営体制] 利用サークル・団体から選出された実行委員 及び 施設職員（サポート）</p>
成果目標
<p>開催にあたっては、利用者団体（主にサークル）が主体で実施し、“利用者の利用者による利用者のための交流イベント”として、本施設ビジョンの「市民主体の住みよいまちづくり」を推進していきます。地域の方などによる開会式司会進行、運営など、より多くの方々を巻き込み、地域一体となった交流イベントを実施します。</p> <p>模擬店の出店や地場野菜の販売、フリーマーケット、昔ながらの遊び等で盛り上げていきます。</p>
<p>【成果指標】 参加延人数 8,000人</p>

(1) 市からの事業実施受託業務 (事業ごとに1枚)

事業名 : スポーツ施設の無料開放
内 容
<p>[実施目的] スポーツ施設はスポーツの基盤であり、その在り方の目指すところは、すべての市民がスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画することのできる機会が適切に提供されている環境の実現にあります。千葉市では、すべての市民が支え合いながら、心豊かに暮らせる活力に満ちた「健やか未来都市 ちば」を目指すため、『主観的健康観の向上』や『主体的な健康づくり』、『ライフステージに応じた健康づくり』に『健康を支援する環境づくり』と、様々な目標を設定し、市民の健康づくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>当施設もトレーニング室を備えており、市民の健康づくり運動を総合的に推進するためトレーニング室の無料開放を実施します。</p> <p>市民一人ひとりが自らの健康観に基づき主体となって取り組む健康づくりを社会全体で支え、全ての市民が健康で心豊かに暮らせる「健康なまちの実現」に寄与してまいります。</p>
<p>[開催時期] 市民の日及びその直近の土日、こどもの日、スポーツの日 令和7年5月5日（こどもの日） 令和7年10月13日（スポーツの日） 令和7年10月11日（市民の日の直近の土日） 令和7年10月12日（市民の日の直近の土日） 令和7年10月25日（18日市民の日がコミュニティ祭りのため翌週に実施）</p>
<p>[対象者] 全世代</p>
<p>[開催場所] トレーニング室</p>
<p>[参加料等] 無料</p>
成果目標
市民の健康への意識を醸成し、健康増進の機会としていただき、体力測定イベントや健康相談会など実施することにより、日ごろの生活習慣を見直していただくきっかけとしてご利用いただきます。
【成果目標】利用人数：各日30人（合計150人）

(1) 市からの事業実施受託業務（事業ごとに1枚）

事業名： 絵本の読み聞かせ・お話し会の実施
内 容
<p>[実施目的] 絵本の読み聞かせは、子どもに想像力を育む事ができ、絵本の読み聞かせを通して「絵と言葉」によって表現された世界に触れる事で、現実の世界を超えたイメージの世界を楽しめます。 絵本から創造力や綺麗なもの・美しいものを発見する感動、ファンタジーの世界で遊ぶことの楽しさ、様々な人の感情をも学ぶことができます。 千葉市でも「千葉市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもが主体的に読書に取り組むきっかけ作りの推進と読書を通じて自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる知的探求心や真理を求められるよう施設・設備、人的環境の整備を行うこととしています。 そのため、当施設でも読書への関心が高まるよう「絵本読み聞かせ・お話し会」を実施します。 子どもが自主的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、また、子育て世代の交流を深めながら、子どもが読書に親しむことができる機会の充実に寄与してまいります。</p>
<p>[開催時期] 年4回 令和7年5月上旬 令和7年7月下旬 令和7年10月下旬 令和8年1月下旬</p> <p>[実施体制] 専門講師およびボランティアスタッフによるサポート</p> <p>[参加料等] 無料</p> <p>[対象者] 親子</p>
成果目標
<p>子どもたちが、読書に親しむことができる機会を提供することで、自ら読書に親しみ、その楽しさを知り、自主的に読書を続けられる環境づくりをおこないます。 また、乳幼児を対象とした「おはなし会」の際には、保護者が持ち回りで絵本を読むなどの取り組みもおこない、親子のコミュニケーションを深めるとともに、保護者同士の交流を図り、子育てサークルの創出も目指していきます。</p>
<p>【成果指標】 参加組数：10組×4回</p>

(2) 自主事業（事業ごとに1枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：千城台たなばた祭り	No.1						
実施日時 令和7年7月							
実施場所 千城台コミュニティセンター全館							
実施目的 古来より“祭り”は、神と人、人と人、地域をつなぐ力をもっています。神をお迎えする祭祀的なものから市民運動に端を発するものなど、さまざまな祭りがありますが、いずれも市民が支え文化を継承し、地域コミュニティを育んできました。 お祭りは人々の思いや願いに触れ、生きる喜びを分かち合い、地域の結束を高める役割も果たしています。人々が一体となって祝福や祈りを捧げることで、人と人との絆を深めてきました。 本施設は30年以上も地域に親しまれてきた地域交流の中心となる場所です。地域の交流や結束を高める拠点となり、地域社会でのつながりの大切さを知ってもらうため「千城台たなばた祭り」を実施します。 本施設が地域活性化の拠点となるため、地元企業や個人企業、商店街にサークル団体などと連携しながらイベントを行い、施設を中心とした地域のまちづくりを展開し、地域の方が色んな想いで集い、地域づくりの主役として活動できる施設にすることに寄与してまいります。							
料金設定 ヨーヨー釣り100円、綿あめ200円など							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>70,000円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>115,000円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△45,000円</td></tr></tbody></table>		収 入	70,000円	支 出	115,000円	収支差額	△45,000円
収 入	70,000円						
支 出	115,000円						
収支差額	△45,000円						
参加見込人数 500名							
内容 当施設利用のサークル団体や地元企業、地域住民による交流の場として、世代間を超えて楽しめる場を提供できるよう、スタンプラリー、ワークショップ、飲食販売などを行う。							
効果 地域活動の拠点づくり・区民同士の交流促進							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : サークル発表会	No.2						
実施日時 令和7年8月／令和8年2月							
実施場所 ロビー、多目的室またはイコアス千城台等							
実施目的 <p>1 人暮らしの高齢者が増え続ける中、高齢者の孤立や孤独を防ぐためにも、社会参加活動など「人と人が関わり合う機会」が必要とされています。さらに、社会参加活動を通じて、心の豊かさや生きがいが得られること、自身の健康にもつながるといわれます。</p> <p>本施設には243のサークル活動団体が登録しており、多くの方々が地域活動の場として利用しております。</p> <p>サークルや社会教育関係団体は同じ興味や趣味を持つ人たちと出会える場でもあり、知人、友人が増えることで自分の居場所と生きがいを見つけることにも繋がります。</p> <p>本施設は30年以上も地域に親しまれてきた地域交流の中心となる場所です。その利点を生かし、「サークル発表会」を実施します。</p> <p>本施設を地域の活動拠点とし、サークルや社会教育関係団体等と連携しながら、活動の意義や生きがいづくりの場として発表会を行い、新たな人と人が繋がり、様々な方が活動に参加し、将来にわたって地域が元気になる拠点にすることに寄与してまいります。</p>							
料金設定 無料							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>0 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>14,400 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△14,400 円</td></tr></tbody></table>	収 入	0 円	支 出	14,400 円	収支差額	△14,400 円	
収 入	0 円						
支 出	14,400 円						
収支差額	△14,400 円						
参加見込人数 定員 50名程度							
内容 <p>千城台コミュニティセンターを拠点として活動する音楽、舞踊等のサークルが、日頃の活動成果を発表する（協力サークルは未定）。</p>							
効果 <p>コミュニティ活動の促進と練習利用による施設稼働率向上</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : ロビー作品展示会	No.3
実施日時 令和7年4月下旬～令和8年3月中旬 9:00～21:00	
実施場所 ロビー	
実施目的 生きがいや楽しみはサークル活動や社会教育関係団体での活動の中ではとても重要です。楽しんで活動し、生きがいを持って生活することで、自分がやりたいことが達成でき、満足感を得ることが期待できます。当施設で活動しているサークル団体は、演奏やダンスのほか、写真、油絵と多岐にわたって活動されています。その生きがい作りの場として、「ロビー作品展」を実施します。	
料金設定 無料	
収支計画 収 入 0 円 支 出 15,000 円 収支差額 △15,000 円	
参加見込人数 : 定員なし	
内容 千城台コミュニティセンターを拠点に活動する園芸、絵画、水墨画、写真等のサークルの協力を得て、ロビー作品展示会を実施する（協力サークルは未定）。	
効果 コミュニティ活動の促進と練習利用による施設稼働率向上	

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 季節の飾り付け	No.4
実施日時 令和7年4月下旬～令和8年3月上旬	
実施場所 ロビー	
実施目的 日本の古い暦に合わせ、季節の変わり目や人生の節目に沿った供物を飾る風習が「しつらい」です。近年、地球温暖化の影響を受け、昔ほど自然や季節を感じることが希薄し、意識する機会も少なくなっています。そこで、本施設で季節の飾り付けを行うことにより、季節の変わり目などを気づいていただき、変わゆく四季を感じるきっかけづくりを創出します。自然と心から出てくる季節への思いを形にする、周りの人と共有する、今ならではの「しつらい」を楽しんでもらいます。	
料金設定 無料	
収支計画	
収 入	0 円
支 出	18,500 円
収支差額	△18,500 円
参加見込人数 定員なし	
内容 季節の飾り付けを実施し、来館者に季節の移り変わりを感じていただく。	
令和7年4月下旬～5月5日	・・・五月人形、こいのぼりの展示
令和7年6月下旬～7月7日	・・・七夕飾りを設置
令和7年10月下旬	・・・ハロウィンの飾りを設置
令和7年12月中旬～12月25日	・・・クリスマスツリーを展示
令和8年1月上旬	・・・正月飾りを設置
令和8年2月下旬～3月3日	・・・雛人形を設置
効果 地域住民の施設利用促進と地域住民との交流	

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : ボードゲーム体験講座	No.5						
実施日時 令和7年7月／令和8年3月							
実施場所 サークル室1							
実施目的 街づくりに通じるボードゲームやアナログやデジタルのボードゲーム、パーティーゲームなどを通じて、地域住民の交流の促進します。							
料金設定 500円							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>15,000円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>17,660円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△2,660円</td></tr></table>	収 入	15,000円	支 出	17,660円	収支差額	△2,660円	
収 入	15,000円						
支 出	17,660円						
収支差額	△2,660円						
参加見込人数 定員15名							
内容 アナログのボードゲームや任天堂 SWITCHなどを活用したデジタルによるボードゲーム、パーティーゲームを実施し、地域住民の交流促進などを行います。							
効果 未利用者の利用促進と地域住民の交流							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : コミュニティカフェ	No.6						
実施日時 通年							
実施場所 ロビー							
実施目的 現代の地域は希薄化していると指摘されている一方で、依然として地域に対する期待が高まっています。具体的には、地域課題が複雑化・多様化した現代において、包括的な支援体制の構築が求められているほか、「小さな拠点(地域拠点)」を中心として住民が相互に支え合うまちづくりの取り組みが期待されています。 「小さな拠点」は、地域課題を話し合う「場」を提供し、また、まちづくりの取り組みを拡げる拠点として重視されています。コミュニティカフェは、他者との交流を通じ、地域に多様な人が存在することを理解する場であるため、本施設は、地域拠点の一つとしての「コミュニティカフェ」を実施します。人の交わりから生まれる地域づくりを推進すると伴に、コミュニティカフェの内部におけるネットワークの構築に止まらず、地域住民や地域組織との関係を構築する拠点づくりに寄与してまいります。							
料金設定 コーヒー100円、焼き菓子 200円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>360,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>276,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>84,000 円</td></tr></tbody></table>		収 入	360,000 円	支 出	276,000 円	収支差額	84,000 円
収 入	360,000 円						
支 出	276,000 円						
収支差額	84,000 円						
参加見込人数 定員無し							
内容 コミュニティセンターロビーでコーヒー、焼き菓子の販売を行い、交流を促進する。 定期的にテーマを設けたサロンも開催し、気軽に集まり繋がれる場所を提供する。							
効果 地域住民による施設利用促進と交流促進							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : ちばFUNくらぶ	No.7						
実施日時 通年							
実施場所 施設全体							
実施目的 近年、日常生活に関わるすべてのことがボランティアにつながるという認識が広がり、国際理解や共生社会の視点からの取組、豊かなまちづくりの取組など、さまざまな活動が行われています。 ボランティア活動は、個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であり、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、社会においてはその活動の広がりによって、社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な構成員がともに支え合い、交流する地域社会づくりが進むなど、大きな意義を持っています。 本施設は30年以上も地域に親しまれてきた地域交流の中心となる場所です。その利点を生かし、「ちばFUNくらぶ」を実施します。 本施設を地域の活動拠点とし、花壇の管理やイベントの手伝いなどを行うほか、千城台駅周辺の清掃作業を行い、千城台をきれいなまちにし、来館者に気持ちよく過ごしていただき、将来にわたって誰もが来たいと思う、クリーンな千城台にすることに寄与してまいります。							
料金設定 無料							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>0 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>48,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△48,000 円</td></tr></table>		収 入	0 円	支 出	48,000 円	収支差額	△48,000 円
収 入	0 円						
支 出	48,000 円						
収支差額	△48,000 円						
参加見込人数 定員無し							
内容 施設に関することや地域に関する活動を支援するサポーターの組成							
効果 地域住民の施設利用促進と世代間を越えた地域住民の交流							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : サークル体験講座	No.8						
実施日時 令和7年11月／令和8年3月							
実施場所 ロビー、施設外							
実施目的 <p>少子高齢化の問題は、活動しているサークル・社会教育関係団体の活動にも影響しています。サークルからは、「メンバーが増えない」、「活動のマンネリ化」、「隣の部屋での団体が何をしているのかわからぬい(団体相互の横のつながりがない)」などの声が聞かれ、活動が難しくなり次々と解散している状況にあります。</p> <p>こういった状況がある中でも、当施設では243団体ものサークルが元気に活動しています。</p> <p>そのサークルの活動を体験する機会を提供し、また活動そのものに参加することで、参加した方に人のつながりや充実感を得ていただき、サークル活動の活性化を図ってまいります。</p>							
料金設定 500円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>5,000円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>4,320円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>680円</td></tr></tbody></table>	収 入	5,000円	支 出	4,320円	収支差額	680円	
収 入	5,000円						
支 出	4,320円						
収支差額	680円						
参加見込人数 定員5名							
内容 <p>施設内や近隣商業施設などで、様々なサークルの体験会を行う。</p>							
効果 <p>コミュニティセンターの利用促進と未利用者の機会創出</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 千城台マルシェ	No.9						
実施日時 令和7年7月／令和8年3月							
実施場所 中央広場							
実施目的 近年、地産地消や食育、スロープードといった「食む」を通じて農業品曜に关心を持つ都市住民が増えています。その中で、生産者である農家が農産物を消費者に直張販売する朝市は、単なる個人消費の場というだけでなく、「農」のもつ社会的意義を発信するための社会活動の一つと考えられ、都市部での開催も多くみられるようになってきています。 若葉区は千葉市内でも農園が多いため、野菜を中心とした「マルシェ」を実施し、賑わいと地域住民の交流を促進に寄与してまいります。							
料金設定 出店手数料 2,000 円							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>12,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>6,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>6,000 円</td></tr></table>	収 入	12,000 円	支 出	6,000 円	収支差額	6,000 円	
収 入	12,000 円						
支 出	6,000 円						
収支差額	6,000 円						
参加見込人数 定員無し							
内容 若葉区や千葉市内でとれた野菜をマルシェ形式で販売。							
効果 地域住民の交流と未利用者の機会創出							
<p>※提案時から出店数を修正したため、収入が変更</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 親子映画観賞会	No.10						
実施日時 令和7年7月／令和8年3月							
実施場所 大広間							
実施目的 <p>映画の世界は私たちに、日常にはない体験や新鮮な感動を与えてくれます。子どもたちに映画を見せることにより、想像の世界が豊かになります。映画のストーリーに加えて、動きや豊かな音楽なども加わるため、日常ではできないような疑似体験ができ、子どもたちの想像の世界をより広げてくれます。また、映画ならば実際には行くことができない、海外や宇宙なども見ることが可能です。映画に触ることで、子どもの世界が広がり、そのことにより知識を得たり、好奇心をも刺激するきっかけにもなります。</p> <p>大人と一緒に映画を見ることで、内容について話し合ったり、感情を共有したりといった、双方向のコミュニケーションのきっかけを作ると共に、子どもの発達や対人とのコミュニケーション向上に寄与してまいります。</p>							
料金設定 無料							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>0 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>8,520 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△8,520 円</td></tr></table>	収 入	0 円	支 出	8,520 円	収支差額	△8,520 円	
収 入	0 円						
支 出	8,520 円						
収支差額	△8,520 円						
参加見込人数 定員 50名							
内容 <p>コミュニティセンター1F大広間を会場に、地域のファミリー層を対象にアニメ映画などを上映 (上映作品は未定)。</p>							
効果 <p>地域住民による施設利用促進と施設周知</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : お菓子作り教室	No.11
実施日時 単発開催(全6回) ※日時は未定	
実施場所 料理実習室	
実施目的 現代の日本は、地球温暖化の影響を受け、季節の長さと開始日を大幅に狂わせるようになっています。1950年代には、北半球において毎年予測可能な範囲で四季が巡ってきました。2100年までに北半球において夏が極端に長くなる一方、冬が短くなる状態になりかねず、農業、人々の健康、環境に大きな影響を及ぼしうると警鐘を鳴らしました。 そんな薄れゆく日本の四季を少しでも感じるため「お菓子作り教室」を実施します。 お菓子は四季を感じることができるだけでなく、人と人、心と心を繋ぐコミュニケーションの役割も担っており、お菓子作りを通じて、心の豊かさや季節の移ろいを楽しむとともに、お菓子文化を創造し、地域の発展に寄与してまいります。	
料金設定 1,500円	
収支計画 収入 108,000円 支出 85,680円 収支差額 22,320円	
参加見込人数 定員12組	
内容 親子で参加し、四季を感じる和菓子と洋菓子づくりをおこなう。	
効果 地域住民による施設利用促進と施設周知	

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : KIDS 料理教室	No.12						
実施日時 年教室(全6回) ※日時は未定							
実施場所 料理実習室							
実施目的 食生活は自然の恩恵の上に成り立っていることを学ぶことで、「いただきます」「ごちそうさま」に込められている食への感謝の気持ちを学べます。また、毎日の食生活は生産者をはじめ、たくさんの人の苦労や努力によって支えられて成り立っていることを教えてくれます。そういった知識を得ることにより、食べ物を残さずに食べたり、無駄なく調理をすることの大切さに気づきます。 今回、キッズ料理教室を行うことにより、誰かと一緒に食事を作ったり、食べたりすることで、社会性を身につけることができます。手洗い、配膳の仕方、食器の並べ方、片付け、食事中の姿勢やマナーなどを身につけたり、家族や友人と会話をしながら楽しく食べることで人間関係を形成していく力を身につけたり、食を通じたコミュニケーションによって、料理への興味と子供の成長を促すことに寄与してまいります。							
料金設定 1人 9,000円 (全6回分)							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>126,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>109,680 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>16,320 円</td></tr></tbody></table>		収 入	126,000 円	支 出	109,680 円	収支差額	16,320 円
収 入	126,000 円						
支 出	109,680 円						
収支差額	16,320 円						
参加見込人数 定員 14名							
内容 全6回の連続講座として実施し、毎回違ったテーマと徐々に難易度を上げた内容で楽しみながら料理を学ぶ。							
効果 地域住民による施設利用促進と子どもの成長と自立							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : サイエンス教室	No.13						
実施日時 令和7年7月							
実施場所 講習室							
実施目的 社会の発展や経済の成長が科学技術の成果や使い方に大きく依存するようになっている現代においては、科学技術の楽しさを伝えることは、より一層求められるようになっている。 中学校の「理科」では、原理や法則の理解を深めるためのものづくりなど、科学的な体験を重視しており、「技術・家庭（技術分野）」では、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってより良い生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することとしています。 当施設でも子ども（小学低学年）を対象にサイエンス教室を実施し、「科学・理科的思考」を学ぶことで「課題発見」⇒「仮説」⇒「検証」⇒「結論」というサイクルを大切にし、「自分で考える力」を養います。「科学教育」を通して、未来を担う子供たちの「創造性」「社会性」を育み、「社会的価値を最大限に発揮できる人材を輩出することをもって、社会に貢献してまいります。							
料金設定 500円							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>20,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>17,850 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>2,150 円</td></tr></table>	収 入	20,000 円	支 出	17,850 円	収支差額	2,150 円	
収 入	20,000 円						
支 出	17,850 円						
収支差額	2,150 円						
参加見込人数 定員 40名							
内容 子ども（小学低学年）を対象にサイエンス教室を実施。詳細未定。							
効果 コミュニティセンターの利用促進と未利用者の機会創出							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 工作教室	No.14						
実施日時 令和7年7月							
実施場所 講習室							
実施目的 <p>かつて、ものづくりは学校外でも子どもたちの遊びや日常生活の中で、遊具や用具づくりが子ども自身の手で形づくられ用いられてきました。</p> <p>高度な技術社会となるにつれ、子どもたちの遊びはゲームなどの室内での遊びが中心となり、外で遊ぶ時間の減少と共に、ものづくりへの関心も減ってきました。</p> <p>このような背景を踏まえ、当施設で様々な活動をしているサークル団体や地域で活動しているボランティア団体と連携しながら、当施設では「工作教室」を実施します。</p> <p>ものを作り出す楽しさや五感や感性などを培っていただき、地域活性化につながるものづくり教育に寄与してまいります。</p>							
料金設定 500円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>20,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>17,850 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>2,150 円</td></tr></tbody></table>	収 入	20,000 円	支 出	17,850 円	収支差額	2,150 円	
収 入	20,000 円						
支 出	17,850 円						
収支差額	2,150 円						
参加見込人数 定員 40名							
内容 子どもを対象に工作教室を実施。詳細未定。							
効果 ものづくりの機会創出							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：オレンジリボンツリー

No.15

実施日時 令和7年11月

実施場所 ロビー

实施目的

児童虐待は現在深刻な社会問題になっています。有効な啓発方法や効果については十分な検証が行われているとはいえないが、啓発は児童虐待防止対策の一つとして非常に重要です。

児童虐待相談対応件数は年々増加し、虐待死も高い水準で推移しています。

児童虐待という言葉はテレビや新聞等で耳にする機会が増え、児童虐待という言葉の認知度は広がったと言えますが、児童虐待を身近な問題と捉え、誰にでもどこにでも起こるという認知は進んでいないと言えます。そのため、当施設でスタッフが身に付けることで、児童虐待防止啓発活動と来館者にオレンジリボンの意味を知ってもらい、虐待防止の意識向上に寄与してまいります。

料金設定 無料

收支計画

取入	0	円
支出	3,500	円
収支差額	△3,500	円

参加見込人数 定員無し

內容

子育て支援の一環として、児童虐待防止のための「オレンジリボン」を職員が装着し啓発する。オレンジリボンを作成し、職員が利用者から見える場所(胸や腕等)にオレンジリボンを装着し利用者に啓蒙活動に関心をもってもらい、賛同してもらえる方にはオレンジリボンを飾ってもらう。

效果

児童虐待防止の意識向上と地域住民の交流促進

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 夏休み自習教室	No.16						
実施日時 令和7年8月							
実施場所 研修室							
実施目的 <p>新学習指導要領では、「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により「個に応じた指導」の充実を図るとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えることが示されており、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが必要となっています。</p> <p>GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備や学びの動機付け・幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開し、個々の家庭の経済事情等に左右されることなく、子供たちに必要な力を育むことが求められています。</p> <p>そのため、当施設でも夏休み期間中に子供たちの学習の場として利用できる「夏休み自習教室」を実施します。</p> <p>諸室を自習室として開放し、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士あるいは多様な他者と協働しながら学びを充実させ、よりよい学びを生み出す学びの場を提供します。</p>							
料金設定 無料							
収支計画 <table><tr><td>収 入</td><td>0 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>45,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△45,000 円</td></tr></table>	収 入	0 円	支 出	45,000 円	収支差額	△45,000 円	
収 入	0 円						
支 出	45,000 円						
収支差額	△45,000 円						
参加見込人数 定員 12名							
内容 利用のない諸室を自習室として開放し、学びの場を提供する。							
効果 学習支援と地域の教養意識の向上							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：あそぼうさい

No.17

実施日時 令和8年3月

実施場所 全施設

実施目的

日本は外国に比べると、台風、大雨、地震、火山噴火などの自然災害が発生しやすく、その被害も大きな国です。災害時においては、国の行政機関、地方公共団体、その他の公共機関等の防災関係機関が一体となって、市民と連携しつつ対応することが求められます。

平成23年3月に発生した福島県沖を震源とする東日本大震災をきっかけに、防災関係機関だけでなく、国民の災害対策意識は急激に加速しました。東日本大震災で得られた多くの防災対策に関する課題への対応力向上を図るため、考え得る様々な被害への応急対応や複数の地方公共団体にわたる広域的な対応等を訓練内容に取り入れられるようになりました。

当施設は千葉市の緊急避難場所に指定されているため、災害時の拠点となる施設です。そのため、地域住民との連携はもちろん、防災関係機関との連携も重要です。そのため災害時の対応を分かりやすくかつ楽しく学べる「あそぼうさい」を実施します。

遊びながら自然に災害の知識が付く仕掛けを行い、非常時に求められる判断や体の動きを身に付け、自助及び共助へ繋ぎ、地域を挙げて防災対策に取り組んでいただき、将来にわたって誰もが安心・安全だと思う、防災のまちにすることに寄与してまいります。

料金設定 無料

收支計画

取入	0	円
支出	110,000	円
収支差額	△110,000	円

参加見込人数 350名

內容

防災をテーマにしたアトラクションや防犯について遊びながら学べる機会を提供。

効果

コミュニティセンター利用促進と地域交流の創出、防災意識の向上

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：くらしの巡回

No.18

実施日時 年2回 ※日時は未定

実施場所 サークル室1・屋外

実施目的

身近な犯罪を抑止するには、住民・警察等の様々な主体により従来から行われてきたソフト面の防犯活動をより一層推進するとともに、住宅・学校・公共施設等の整備や管理等のハード面の取り組みを推進することが重要です。すなわち、従来は接点の乏しかった防犯活動とまちづくりを相互に組み込み、犯罪が起こりにくく犯罪に対して抵抗力のあるまちづくりを行う「防犯まちづくり」を推進することが求められています。

本施設は30年以上も地域に親しまれてきた地域交流の中心となる場所です。その利点を生かし、「くらしの巡回」を実施します。

本施設を地域の活動拠点とし、警察と連携しながら地域の巡回やイベント時の移動交番派遣などを行い、千城台を安心・安全なまちにし、地域の方に気持ちよく過ごしていただき、将来にわたって誰もが安心だと思う、クリーンな千城台にすることに寄与してまいります。

料金設定 無料

收支計画

取入	0	円
支出	4,320	円
収支差額	△4,320	円

参加見込人数 定員 20 名

內容

今狙われている特殊詐欺の事例や対処法を学ぶセミナー等の開催と、中央広場での移動交番の開催。

効果

地域の防犯意識の向上と地域住民との交流

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 名作上映会	No.19						
実施日時 年6回 ※日時は未定							
実施場所 多目的室							
実施目的 <p>映画の世界は私たちに、日常にはない体験や新鮮な感動を与えてくれます。映画は比較的身近な場で鑑賞が可能であり、優れた作品が与える感動は心の糧となり明日への活力となります。</p> <p>一方、急速に高齢社会を迎える中高年のレクリエーションや生涯学習、またそれらを実現する場・機会なども重視される中での映画鑑賞は、有益な体験を与えてくれます。</p> <p>映画は、鑑賞者に対して様々な感動や安らぎや楽しさを与えるとともに、見知らぬ世界を疑似体験させることにより、様々な興味と関心を喚起してくれます。中高年においては、青春時代の映画を改めて鑑賞することで、自らの人生を振り返り、心の癒しを得ることもできます。</p> <p>若葉区内には映画館がないため、若葉区のほぼ中心にある当施設で「名作上映会」を実施します。</p> <p>若葉区のほぼ中心にある当施設を起点に、区民が集まることによる新たな地域コミュニティの創出と地域の活性化に寄与してまいります。</p>							
料金設定 無料							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>0 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>47,400 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>△47,400 円</td></tr></tbody></table>	収 入	0 円	支 出	47,400 円	収支差額	△47,400 円	
収 入	0 円						
支 出	47,400 円						
収支差額	△47,400 円						
参加見込人数 100名/回							
内容 1F 多目的室を会場に、一般市民を対象に名作映画の上映会を開催。上映作品未定。							
効果 地域住民による施設利用促進と地域交流の創出							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：ワンコインコンサート

No.20

実施日時 令和7年9月／令和8年1月

実施場所 多目的室

実施目的

日本音楽療法学会によると音楽は『音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること』とあります。

音楽は心と体にさまざまな影響を及ぼします。耳から入った音楽は、脳へと伝わり、全身に影響を及ぼします。自律神経系に作用して、心拍や血圧が変化し、興奮や鎮静、リラクゼーションなどの効果がもたらされます。同時に、心の状態にも影響を与え、感情、知覚、認知を活性化させるほか、誰かと一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を揺らしたりダンスをしたりすることで、親密感や仲間意識が芽生えることもあります。

その音楽の利点を活かした「ワンコインコンサート」を実施します。

気軽に音楽文化に接する機会を提供することにより、ストレスがたまりやすい現代社会において、心身共にリフレッシュしてもらい、毎日を楽しく過ごし、明るい地域社会の創出に寄与してまいります。

料金設定 500 円

收支計画

取入	120,000	円
支出	69,800	円
收支差額	50,200	円

参加見込人数 定員 120 名

內容

コミュニティセンター 1F 多目的室を会場に、一般市民を対象にワンコイン（500 円）で芸術鑑賞の出来る公演を行います。

效果

地域住民による施設利用促進と地域交流の創出

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 市民寺子屋教室	No.21						
実施日時 単発教室(年4回) ※日時は未定							
実施場所 会議室							
実施目的 <p>「地方の時代」や「文化の時代」と呼ばれるように、身近な地域を中心として、地域住民の間で地域固有の個性豊かな伝統芸能や美術工芸品の鑑賞、お祭りなどの活動への参加、歴史的な建造物・町並みや史跡等の保存・活用の取り組みなどへの気運が急速に高まってきています。</p> <p>ここ若葉区に残る個性豊かな地域の伝統文化は、次世代に継承していくべき市民共通の財産であり、自らの地域を見つめ直して地域の伝統文化を発見し、その継承に向けた自主的な取組を進める必要があります。</p> <p>今回、若葉区の歴史や文化を学ぶため「市民寺子屋教室」を実施します。</p> <p>地域の伝統文化を支える地域住民や民間企業との連携を図りながら、その一体的・総合的な保存及び活用を進めることで、地域の魅力を創出します。</p> <p>さらに、地域の伝統文化の保存及び活用により、地域間の交流を活性化するとともに、関連産業との連携を図ります。地元千葉の歴史や文化を学ぶことにより、地域を愛する心を育む。日頃コミュニティセンターで活動していない地域住民にも参加いただき交流を図り、生きがいにも繋げてまいります。</p>							
料金設定 1,000円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>60,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>47,120 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>12,880 円</td></tr></tbody></table>	収 入	60,000 円	支 出	47,120 円	収支差額	12,880 円	
収 入	60,000 円						
支 出	47,120 円						
収支差額	12,880 円						
参加見込人数 定員15名							
内容 <p>千葉市の歴史・文化、教養講座等を地元大学等と連携し教養向上につながる講座を実施</p>							
効果 <p>地域交流の創出と地域の教養意識の向上</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : テーマ別講習会	No.22						
実施日時 単発教室(年5回) ※日時は未定							
実施場所 講習室							
実施目的	社会の変化の激しい今後の時代においては、学校を卒業し社会人となった後も大学等で更に学びを重ね、新たな知識や技能、教養を身に付けることが必要となっています。また、出産や子育て等、女性のライフステージに対応した活躍支援や若者の活躍促進等の観点からも、社会人の学び直し（リカレント教育）の推進がより一層求められています。 文部科学省でも、国民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それを生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなど、生涯学習社会の実現に取組んでいます。 本施設は様々な学びを提供している施設です。その利点を生かし「テーマ別講習会」を実施します。本施設を学習の場とし、サークル団体や地域の活動団体、地元企業などと連携し、様々な学びを提供し、生涯のいつでも自由に学習機会を選択し、学ぶことができる生涯学習社会に寄与してまいります。						
料金設定 1,000円							
収支計画	<table><tr><td>収 入</td><td>100,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>39,200 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>60,800 円</td></tr></table>	収 入	100,000 円	支 出	39,200 円	収支差額	60,800 円
収 入	100,000 円						
支 出	39,200 円						
収支差額	60,800 円						
参加見込人数 定員 20名							
内容	生涯学習社会の実現に向けた様々なテーマに沿った講座を開催。						
効果	コミュニティセンター利用促進、やりがい、いきがいの創出、地域交流の創出						
※提案時より、人数を変更したため、収入が変更							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 健康麻雀講座	No.24						
実施日時 通年教室(年16回) ※日時は未定年							
実施場所 サークル室1							
実施目的 <p>健康麻雀は、日本健康麻将協会（現、一般社団法人日本健康麻将協会）が麻将の優れた競技制、奥深さに注目し、それまでの不健全な麻将のイメージを払拭すべく「飲まない、賭けない、吸わない」をテーマに掲げ、新たに健全なマージャンを普及させる事を目的に立ち上げたカルチャーブランドです。麻将は人生の縮図と言われるほどゲーム性に優れ、ビジネスにおいては、判断力強化、能力開発に役立つと考えられ、昨今は就職試験に採用され話題となりました。高齢化社会が問題化する現代においては、高齢者の介護予防、健康維持に役立つとされています。</p> <p>千葉市内でも若葉区は65歳以上の割合が30%以上と6区の中でも1番高いため、高齢者の健康維持などを目的に「健康麻雀講座」を実施します。</p> <p>麻将を通じて健康を維持し、やりがいと生きがいを持った生活を送れるようにすると共に、市民の健康への意識の醸成と健康増進の機会に寄与してまいります。</p>							
料金設定 1,500円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>960,000円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>750,400円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>209,600円</td></tr></tbody></table>	収 入	960,000円	支 出	750,400円	収支差額	209,600円	
収 入	960,000円						
支 出	750,400円						
収支差額	209,600円						
参加見込人数 定員40名							
内容 <p>グループを固定せず、それぞれのレベルに応じた指導を講師から受けつつ、毎回異なるメンバーと麻将を楽しむ。</p>							
効果 <p>健康の促進と地域住民との交流</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : IT 講座	No.25						
実施日時 単発教室(年2回) ※日時は未定							
実施場所 講習室							
実施目的 現代はIT社会（情報化社会・情報社会）とよばれ、情報が中心となって機能する社会になっています。ITは、コンピュータだけの範囲ではなく、テレビやゲーム機、エアコン、スピーカーなどの家電や自動車に装備されネットワーク化が進んでいます。 千葉市においても令和3年3月に条例改正し、デジタル技術を活用した行政推進の3原則を規定するとともに「千葉市行政デジタル化推進指針」を新たに策定しました。 千葉市は限りある行政資源を最適配分し、より効果的・効率的な行政運営を行うため、事務事業を抜本的に見直す行政改革を進めることとしています。その手法の1つとしてデジタル技術の活用を掲げています。 当施設も公共施設として、千葉市の指針を推進させるため「IT講座」を実施することとしました。 若葉区は65歳以上の高齢者が多いため、スマートフォンやパソコンの基礎講座を行うことにより、デジタル技術を活用した行政手続や行政サービスへ対応することができ、行政デジタル化の推進を図ることができます。							
料金設定 500円							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>20,000円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>14,120円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>5,880円</td></tr></tbody></table>	収 入	20,000円	支 出	14,120円	収支差額	5,880円	
収 入	20,000円						
支 出	14,120円						
収支差額	5,880円						
参加見込人数 定員20名							
内容 講師を招きスマートフォン、PCの使い方や、メール、ネット検索の方法、ズームなどのオンラインツールの使い方を分かりやすく学ぶ。							
効果 インターネット知識の獲得と地域住民との交流							
※提案時より参加人数を変更したため、収入が変更							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：テーマ別料理教室

No.26

実施日時 単発教室(年4回) ※日時は未定

実施場所 料理実習室

実施目的

食生活は自然の恩恵の上に成り立っていることを学ぶことで、「いただきます」「ごちそうさま」に込められている食への感謝の気持ちを学べます。また、毎日の食生活は生産者をはじめ、たくさんの人の苦労や努力によって支えられて成り立っていることを教えてくれます。そういういた知識を得ることにより、食べ物を残さずに食べたり、無駄なく調理することの大切さに気づきます。

今回、「テーマ別料理教室」を行うことにより、誰かと一緒に食事を作ったり、食べたりすることで、社会性を身につけることができます。手洗い、配膳の仕方、食器の並べ方、片付け、食事中の姿勢やマナーなどを身につけたり、家族や友人と会話をしながら楽しく食べることで人間関係を形成していく力を身につけたり、食を通じたコミュニケーションによって、料理への興味と地域のコミュニケーションを促すことに寄与してまいります。

料金設定 2,000 円

收支計画

取入	96,000	円
支出	75,120	円
収支差額	20,880	円

參加見込人數 定員 12 組

內容

そば打ちなどテーマに沿った料理教室の開催。

効果

やりがいと生きがいの創出及び地域住民との交流

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 卓球講座	No.27						
実施日時 通年教室(年 20 回) ※日時は未定							
実施場所 多目的室							
実施目的 卓球は世界各国で行われ、オリンピック競技としても広く知られています。卓球は競技スポーツとして行う場合、敏捷性や調整力を必要とするハードなスポーツです。レクリエーション、生涯スポーツとして行う場合は、自分の体力や年齢、技術、目的に合わせて行うことができるうえ、サッカーやラグビーのような身体接触がないため、プレー中の事故や怪我が少ないという特徴があります。 若葉区は 65 歳以上の割合が 30.8% と 6 区の中でも一番高い割合となります。そのため、高齢者でも楽しめるスポーツとして、「卓球教室」を実施します。 千城台コミュニティセンターは、ほぼ若葉区の中心にあり、ここを中心に高齢者の健康促進を図るとともに、元気な若葉区を目指し、生きがいを創出することに寄与してまいります。							
料金設定 1,200 円/回(1 人 24,000 円)							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>216,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>209,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>7,000 円</td></tr></tbody></table>	収 入	216,000 円	支 出	209,000 円	収支差額	7,000 円	
収 入	216,000 円						
支 出	209,000 円						
収支差額	7,000 円						
参加見込人数 定員各 9 名/期							
内容 初心者から参加できる卓球教室。							
効果 健康増進と地域住民との交流							
※提案時より参加費を変更したため、収入が変更							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称：ボッチャ体験講座

No.28

実施日時 単発教室(年1回) ※日時は未定

実施場所 多目的室

実施目的

ボッチャは重度の身体障がいがある人のためにヨーロッパで考案された競技で、ルールは冬のスポーツであるカーリングに似ています。正確な投球と戦略が必要な競技で、障がいのある人も高齢者も子どもも、体力がなくてもだれでも楽しむことができます。

2011年に制定された「スポーツ基本法」や、それにもとづく「スポーツ基本計画」には、障がいのある・なしに関わらず、すべての人が積極的にスポーツをおこなえる環境をととのえるべき」といった内容がもりこまれました。

ボッチャは、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。誰もがボッチャを知り、一緒に楽しめる環境を目指し、当施設では「ボッチャ体験講座」を実施します。

千城台コミュニティセンターは、ほぼ若葉区の中心にあり、ここを中心に高齢者の健康促進を図るとともに、元気な若葉区を目指し、生きがいを創出することに寄与してまいります。

料金設定 無料

收支計画

取入	0	円
支出	9,200	円
収支差額	△9,200	円

参加見込人数 27名

內容

パラリンピック種目のボッチャをルールから分かりやすく学び、皆で楽しむ。

効果

地域住民との交流と多様性の受容

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : 健康体操講座							
No.29							
実施日時 通年教室(年4回) ※日時は未定							
実施場所 講習室							
<p>実施目的</p> <p>身体活動量が多い人や運動をよく行っている人は、総死亡、虚血性心疾患、高血圧、糖尿病、肥満、骨粗鬆症、結腸がんなどの罹患率や死亡率が低いこと、また、身体活動や運動がメンタルヘルスや生活の質の改善に効果をもたらすことが認められています。更に高齢者においても歩行など日常生活における身体活動が寝たきりや死亡を減少させる効果があることが示されています。</p> <p>身体活動量を増やすためには、状況に応じて、通勤・買い物で歩くこと、階段を上ること、運動・スポーツを行うことなど身体を動かすことを日常生活に取り入れることが必要ですが、家事や仕事の自動化、交通手段の発達により身体活動量が低下してきたことは明らかであり、食生活の変化とともに、近年の生活習慣病増加の一因となっています。</p> <p>若葉区は65歳以上の割合が30.8%と6区の中でも一番高い割合となります。そのため、高齢者でも身体をあまり動かさず気軽に楽しめる「健康体操講座」を実施します。</p> <p>千城台コミュニティセンターは、ほぼ若葉区の中心にあり、ここを中心に高齢者の健康促進を図るとともに、元気な若葉区を目指し、生きがいを創出することに寄与してまいります。</p>							
料金設定 500円							
<p>収支計画</p> <table> <tr> <td>収 入</td> <td>20,000 円</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>27,080 円</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>△7,080 円</td> </tr> </table>		収 入	20,000 円	支 出	27,080 円	収支差額	△7,080 円
収 入	20,000 円						
支 出	27,080 円						
収支差額	△7,080 円						
参加見込人数 定員10名							
<p>内容</p> <p>座ったままで出来る健康体操など、様々な年代に向けた講座を開催。</p>							
<p>効果</p> <p>健康増進と地域住民との交流</p>							

(2) 自主事業 (事業ごとに1枚)

自主事業名称 : コピーサービス	No.30						
実施日時 通年							
実施場所 受付カウンター							
実施目的 <p>諸室貸出・リクエストサービスは最も基礎的な公共施設サービスです。 新型コロナウイルスも5類に分類された今日、サークル活動等が再開されコピーサービスの増加が予想されるため、コピーサービスによって諸室利用時の円滑なサークル活動を最大限サポートしてまいります。</p>							
料金設定 10円（白黒1枚） 50円（カラー1枚）							
収支計画 <table><tbody><tr><td>収 入</td><td>40,000 円</td></tr><tr><td>支 出</td><td>40,000 円</td></tr><tr><td>収支差額</td><td>0 円</td></tr></tbody></table>	収 入	40,000 円	支 出	40,000 円	収支差額	0 円	
収 入	40,000 円						
支 出	40,000 円						
収支差額	0 円						
参加見込人数 延べ1,000件程度							
内容 <p>原則、諸室利用時の活動に必要なもののコピー承りとしているが、複合施設内でコピーサービスがないため個人情報を除く持ち込みにも対応する。</p>							
効果 <p>円滑なサークル活動の実現</p>							
※実績により収入の見直しを行った。							

4 施設維持管理業務に関する実施計画

(1) 建築物、建築設備機器保守管理業務

【施設の清掃、点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

【日常清掃】

◇千城台コミュニティセンターの日常清掃は、具体的な項目を挙げた作業工程表に沿い、できる限り施設利用を妨げない時間帯に行い、日報に記録を残します。作業工程は繁閑状況などに応じて柔軟な対応をし、清潔で最適な状況を保ちます。さらに、ガラスの手垢、外周の除草、機械室内等、毎日清掃出来ない箇所も曜日ごとなど、週1回、月2回など定期的に予定を組んで作業を行います。また、施設の不具合を一番発見できるのは日常清掃を行っている担当者であるため、日常清掃チェックシートとは別に「施設品質保全シート」を作成し、施設についての異常・異変を発見した場合、所長に報告します。

【主な日常清掃業務の一覧】		
項目	業務内容	頻度
廊下・階段	床の掃き拭き・手摺、スイッチ部分・扉の水拭き 等	随時
トイレ	床の掃き拭き・洗面台の清掃・ペーパー等の補充 等	随時
専用部分	床の掃き拭き（バキューム掛け）・机、椅子等の水拭き 等	随時
シャワー室	床の水拭き・排水口清掃・洗面台の清掃 等	1回/日
外回り	拾い掃き 等	随時

【定期清掃】

◇年間作業計画を策定し、外壁や窓ガラス清掃、ワックス掛け、重点清掃などを行うほか、利用頻度が高い、汚れやすい場所等は重点的に行い、必要に応じてワックスの剥離作業も行います。その他、外壁等汚れが目立つ箇所に関しては随時作業を行います。

定期清掃に限らず、目立つ汚れが発生した場合は、日常清掃、臨時清掃で対応します。

【主な定期清掃業務の一覧】		
項目	業務内容	頻度
床面	洗浄・ワックス塗布・カーペットクリーニング	2回/年
ガラス	窓ガラス清掃	2回/年
壁面	除塵	随時
照明器具	照明器具水拭き清掃・管球拭き清掃	随時
金属部分	拭き・磨き清掃	随時

【設備の日常点検及び法定点検】

- ◇日常点検を通して施設の浮き、ひび割れ、はがれ、かび等が発生しない状態を維持し、かつ美観を維持します。
 - ◇年間管理計画書を作成し、該当月の詳細な実施へ反映します。各計画に基づき調査した書類等については、業務の現状を確認し、基礎データとして保管します。保管したデータを有効活用し、今後の適正な施設管理業務に役立てます。
- 点検結果は、改善・変更を行う必要が発生した場合は、報告書にまとめ千葉市に報告します。建築物定期検査（1回／年）・特殊建築物定期調査（1回／3年）等法定点検は確実に実施し、利用者の安全確保に努めます。

作業内容		実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
清掃業務	日常清掃	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	床面洗浄	3回/年		○				○				○		
	カーペット	1回/年						○						
	窓ガラス	2回/年				○					○			
	フロアコーティング保守	1回/年											○	
	一般廃棄物処理業務	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
設備管理業務等	建物設備運転監視	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	建築物環境衛生管理技術者選任	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自家用電気工作物保安管理	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防設備保守点検	2回/年					○						○	
	吸式冷温水発生器保守	4回/年		○			○			○		○		
	防火対象物定期点検	1回/年											○	
	GHP保守点検	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フィルター洗浄	2回/年		○					○					
	熱交換器フィルター洗浄	2回/年	○						○					
	昇降機保守	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	建築設備・防火設備定期検査	1回/年					○							
	特殊建築物定期調査	1回/3年											○	
	自動ドア保守	2回/年					○							○

※清掃実施範囲は、建物平面・地下1階から屋上及び敷地内外とする。

※特殊建築物定期調査は前回令和2年度に実施。

(2) 備品管理業務

【備品の点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

【備品管理】

- ◇備品および消耗品等についても備品診断カルテを用いて、数量、状態を常にチェックし不足する前に補充するなど、利用者が安全・快適に使用できるようにします。また、千葉市の備品については市の規定に基づいて、管理台帳及びラベル等を用い管理します。
- 備品の新規購入、用途廃止にあたっては、所長が必ず確認するものとし、盜難や不正な流用が無いよう厳重に管理します。
- ◇施設備品については「管理簿」によって管理し、利用者への貸し出し備品については計画的に点検して機能保全に努めます。万一、破損や不具合が発生した場合は、速やかに千葉市に報告します。
- ◇設備機器類の点検を、「設備機器自主点検表」に基づいて行い、半期ごとに「備品台帳」を利用して備品類の棚卸を行います。点検結果は施設管理責任者が確認し、所長に報告します。

備品購入台帳（例）

品名・商品名	使用場所	メーカー・品番	金額
○○○	△△△	□□□	×××円

(3) 植栽、外構施設維持管理業務

【植栽の維持管理及び外構施設の清掃、点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

【植栽の維持管理】

◇樹木の剪定、施肥、病害虫防除、芝生の管理、除草など適切に実施し、環境を維持します。

中高木剪定、低木剪定ともに、1回/年を基本として実施します。

千城台コミュニティセンター 植栽剪定計画書

植物名等	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	備考
クスノキ 9本	○		○		○	正面入口左側
ケヤキ 1本	○		○		○	
ヤマモモ 1本	○		○		○	
クスノキ 7本		○		○		正面入口右側
イロハモミジ 1本		○		○		
ケヤキ 2本		○		○		
マテバシイ 10本		○		○		
モチノキ 2本		○		○		
ツバキ 5本		○		○		
レッドロビン 生垣	○	○	○	○	○	自社対応
オオムラサキツツジ 低木	○	○	○	○	○	自社対応

(4) 環境衛生管理業務

【給排水設備の保守管理、ごみ処理及び害虫駆除などに係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

【保守管理計画】

作業内容	実施回数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
空気環境測定	6回/年	○		○		○		○		○		○	
害虫駆除	4回/年			○			○			○			○
飲料水水質検査(28項目)	1回/年			○									
飲料水水質検査(11項目)	1回/年									○			
雑排水槽清掃	2回/年				○					○			
湧水・雨水槽保守	1回/年				○								
受水槽清掃	1回/年			○									
冷却水薬剤調整業務	2回/年			○		○							
冷却塔清掃	2回/年		○						○				
冷却塔水質検査	2回/年		○			○							
グリストラップ清掃	1回/年				○								
一般廃棄物処理業務	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（5）駐車（駐輪）場管理業務

【駐車（駐輪）場の保守管理に係る実施計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

【駐車場の管理】

◇スタッフによる巡回監視（午前・午後・夜間）および誘導を行うと共に、清掃担当者の外回り巡回清掃時にも状況監視を行います。特に、若葉文化ホールなどの施設利用状況により、開館時間が早まつたり閉館時間が遅くなるなど、駐車場の利用可能時間も変わることもあります。その際、各施設に予め駐車場の利用可能時間を連絡するとともに、利用状況に応じた巡回警備を実施し適切に管理します。また、駐車場や駐輪場は、利用者が来館して最初に歩く場所になります。駐車場及び駐輪場内、玄関周辺の清掃を心がけ不快な思いをさせないようにします。
なお、施設利用者以外の方が駐車場を利用することがないように、車両の監視および誘導を適切に行います。

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
巡回監視	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(6) 保安警備業務

【警備業務の年間計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

【機械警備の導入】

◇夜間（開館時間外）の警備には機械警備を実施します。また、不法侵入者等の対応はすぐに駆けつける体制を構築します。

【開館時間内の警備】

◇スタッフ全員で安全・安心の確保をするため、入退室管理（目視による確認）を基本とします。また、施設の賑わいを生むとともに、利用者とのコミュニケーションは防犯へも繋がるという考えから、来館者へのあいさつを徹底します。

◇事故の起こる前兆（不審者や不審物、苦情など）をきちんと把握し、未然に防止します。各部屋の施錠確認、侵入者の発見、火気の点検など日々の巡回業務と巡回日誌を作成し、高い意識を持って取り組みます。

◇施設内の巡回および確実な施錠・解錠により、盗難等を未然に防ぐことはもちろん、建物周囲も巡回を強化し、安全に留意します。閉館時は責任者が最後に退館し、施錠及び機械警備のセットを行います。

◇防火扉、排煙口などの定期検査や火災発生時の通報・消火作業などの各種付帯業務なども、適切な判断による対応を図り、利用者の安全を確保します。避難経路や消防機器を常に確認するほか、駐車場や危険箇所などを常に意識して行動します。子どもたちの安全確保や交通事故防止などにも十分配慮を行います。

◇施設内共用部、駐車場等に防犯カメラを導入し、保安警備を実施いたします。

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機械警備	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巡回監視	12ヶ月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(7) 修繕業務

【可能な限り詳細に記載すること。突発的な修繕など、まとめないと表現できないものは「その他小破修繕」として計上可とする。】

No.	修繕箇所	計画額 (単位:千円)	実施時期	状況
1	その他小破修繕	2,500	通年	突発的な修繕に対応

(8) その他

【施設維持管理に関し、その他特記すべき事項があれば記載すること。】

【個人情報保護】

◇個人情報を適切に取り扱うことを社会的責務のひとつと考え、千葉市の指導のもと、個人情報を保護します。

国の定めた「個人情報の保護に関する法律行政機関の保有する情報の公開に関する法律」並びに千葉市の定めた「千葉市指定管理者等個人情報保護規程」及び「千葉市指定管理者等及び出資法人個人情報保護事務処理要領」を遵守するとともに、千葉市と同等の個人情報保護措置を取ることとします。

管理責任者	施設名	管理者
		補助者
代表企業 Fun Space 株式会社 専務取締役	千城台コミュニティセンター	統括館長、所長 副所長

【急病者処置】

◇施設の危機管理マニュアルに則り、職員が統一見解をもって対応処置いたします。また、利用者の行動に気を配り、確認及び対応を心がけ、万一の不測の事態に備えます。

※全職員に AED の研修を実施します。責任者は上級救命講習を受講します。

5 経営管理業務に関する実施計画

(1) 再委託業務

私たちは、再委託や修繕、物品購入など、本施設の管理運営にかかわる業者等を大切なパートナーと考えています。特に市内業者については、市内産業への寄与の点からも重要なパートナーと考え、受注機会の確保・拡大のため、十分に周知されるように積極的にお声がけをします。

(単位：千円)

No.	再委託業務	再委託先	再委託先所在地	委託金額
1	機械警備業務	綜合警備保障(株)	東京都港区元赤坂1-6-6	1,100
2	早朝警備業務	(株)MSK	稻毛区稻毛東3-6-15	3,410
3	消防設備保守点検業務	防災技術センター(株)	中央区若草1-20-10	945
4	吸收冷凍・冷温水機保守 冷却水薬剤調整業務	川重冷熱工業(株)	東京都江東区木場1-5-25	1,890
5	昇降機保守点検業務	フジテック(株)	東京都千代田区外神田3-2-14	441
6	自動扉開閉装置保守管理	ナブコシステム(株) 東関東支店	中央区宮崎2丁目6-4	144
7	自家用電気工作物保守点検	関東電気保安協会	四街道市大日緑ヶ丘1793-1	420
8	ネズミ・衛生害虫 防除業務	(株)三共消毒	稻毛区轟町5-5-23	263
9	フロアコーティング保守	シーアンドエー(株)	若葉区太田町133-1	600
10	樹木剪定業務	千葉グリーンサービス(株)	中央区東千葉1-9-1	237
11	一般廃棄物収集運搬業務	石井開運(株)	若葉区大草町762-2	315
12	産業廃棄物収集運搬・処理	石井開運(株)	若葉区大草町762-2	210
13	受水槽等各種清掃	大金興業(株)	緑区誉田町3-78	454
14	GHP 保守点検業務	東京ガス(株)	美浜区幸町1-6-8	523
15	ばい煙濃度測定業務	(株)環境コントロールセンター	中央区宮崎1-22-10	80
16	定期清掃業務	(株)別大産業	中央区長洲1-23-4	920
17	定期ピアノ調律業務	(株)アイバ楽器	若葉区西都賀3-8-3	32
合 計				11,984

（2）管理業務の実施状況に関する自己評価

【施設の管理運営に関する自己評価の実施時期、方法等の年間計画を記載すること。】

【自己評価】

◇各種のデータをもとに自己評価（セルフモニタリング）を行い、市民サービスの向上と業務の効率化につないでいきます。

まず目標を設定し、その達成度を把握します。達成度把握のために出来る限り具体的な指標を設定し、定量・定性データを用いて分析します。この結果を業務に活かすべく、P D C Aサイクルを用いて改善に取り組んでまいります。

① 目標の設定と分析

◇年度ごとに事業計画書において明確な目標設定を行い、その達成度を評価基準とします。

客観的・具体的な指標として利用者数（自主事業への参加者数含む）、利用率、顧客満足度調査とします。

② 企業体経営会議の実施

◇最高経営機関として全社の本社役員又は管理職の出席のもと経営会議を2ヶ月に1回開催し、経営計画や事業計画策定の決定と運営支援および管理を行います。また、構成会社がすべて参加することで、相互のチェック機能が働き、より良い運営体制を構築することが可能となります。

③ 利用者意見、自己評価等の管理運営への反映

◇自己評価（目標に対する達成度）と把握した利用者の意見をもとに、P D C Aサイクルに基づいて、業務改善を図ります。常に課題点を明確化して改善に反映していくことにより、管理運営のマンネリ化を防ぎ、職員のモチベーションを高めてまいります。

(3) 利用者意見等の把握と対応

【利用者等アンケート及び地域住民等の意見の把握方法並びにその意見等に対する対応方法、実施時期等の年間計画を記載すること。】

【意見の把握等】

下記のような様々な調査方法を通じて利用者の要望等を把握し、年代や性別、居住地等をはじめとした分類別の分析などを行い、利用者満足度が高い施設をめざします。

調査方法	実施時期
① 利用者アンケート	随時
② 利用者ヒアリング	随時
③ アンケートボックス	常設
④ 顧客満足度調査	年1回
⑤ 未利用者アンケート	年1回
⑥ お茶会	年1回

① 利用者アンケート

◇ご利用者には、ご利用日受付にてアンケート用紙をお渡しし、積極的に運営改善へのご協力をお願いし、サービスの向上に役立てます。

② 利用者ヒアリング

◇ご利用の際に不便はなかったか、何か困ったことはなかったか、会話によりご意見や感想聞き取ります。アンケート用紙に記載するまでではないが、利用していて感じるちょっとした不満要素や地域の課題など、いろいろなご意見が聞ける最も有効な手段として考えています。

スタッフとの信頼関係、会話力が必要ですが、利用者ヒアリングは不満要素を不満にしないうちに改善へ繋げる有効な手段としてスタッフ全員で実践しています。

③ アンケートボックス

◇受付に直接言いにくい、アンケートに書きにくい見えない声の収集手段として、常設します。主催者、利用者、施設に来た誰でもが意見を投書でき、その意見を反映させます。

④ 顧客満足度調査

◇利用者の要望等を客観的・定量的に把握し、より良い運営サービスに反映させていく目的に、「顧客満足度調査」を行います。この調査では新たな手法を取り入れ、今まで以上に利用者の不満を明確にし、施設利用上の問題点を定量的に抽出し、運営改善に活かしていきます。調査結果は改善に活かすだけでなく、市へも報告し、施設運営の透明性も保ちます。

⑤ 未利用者アンケート

◇利用者だけでなく本施設をご利用されたことが無い方にも、その他集客施設などでアンケートを行い「なぜ利用したことがないのか？」などを調査し、利用者数増加を目指します。

⑥ お茶会の開催

◇コミュニティセンターの利用者同士の交流を通して声を聴く「お茶会」を年1回行います。リラックスした雰囲気の中で、日々の運営、自主事業やイベントなどの忌憚ない改善点などご意見をいただきます。

6 その他

【指定管理業務に関し、その他特記すべき事項があれば記載すること。】